

辺野古基地建設反対！沖縄の民意を無視するな
沖縄・南西諸島を軍事基地化するな
戦争への道、防衛費2倍化反対！



山城博治講演会

ジュゴンのいる青い海を守ろう！

11月22日(火) 18:30～
(18:15開場)

カムカム新蒲田・多目的大ホール
大田区新蒲田1丁目18-23(旧大田区民センター)

- ◆参加費：800円
- ◆主催：戦争させない1000人委員会・東京南部
- ◆お問い合わせ：事務局 福石満 (TEL.090-1732-1058)



講師紹介

山城博治 (やましひろじ)

元沖縄平和運動センター議長
 ノーモア沖縄戦・命どう宝の会共同代表
 2015年に多田謡子反権力人権賞
 2019年に日本平和学会平和賞を受賞



辺野古基地建設反対—沖縄の基地反対運動の指導者として闘い続け、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブ、米軍北部訓練場の現場で逮捕。2016年には、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前で、コンクリートブロックを積み上げて工事資材の搬入を阻んだとして、威力業務妨害の疑いで再逮捕。不当逮捕と長期拘留にたいし全国的な抗議運動がまきおこった。2017年3月に5ヶ月ぶりに保釈されたが、保釈に際して当人は「保釈決定には事件関係者との面会を禁じる」条件が付けられた。那覇地裁判決、福岡高裁判決を不服として最高裁に上告したが、最高裁で有罪が確定した。この不当性についてはジュネーブの国連人権委員会でも本人がアピールし、国際的な注目を集めた。

現在、「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」で、ダグラス・ラミス、三上知恵らとともに共同代表。辺野古基地建設反対運動とともに南西諸島のミサイル軍事基地化や「シェルター建設」計画などへの抗議運動を展開中。



辺野古埋め立ての現状

県民投票や県知事選で示された沖縄県民の「民意」はことごとく踏みにじられ、辺野古の埋め立て工事は強行されています。軟弱地盤のある大浦湾埋め立ては不可能とされていますが、岸田内閣も工事を止めようとはしません。

一方で、琉球孤列島（南西諸島）の島々には島しょ防衛を口実に自衛隊の配備が進み、新たなミサイル基地や弾薬庫などが建設され、敵基地攻撃能力や軍事費2倍化が声高に叫ばれています。

日本の国土全体が軍事基地化される動きに歯止めをかけなければなりません。

南西諸島の軍事基地化を許すな！
 着々と配備される自衛隊、ミサイル基地、弾薬庫・・・

- ◆奄美大島＝奄美駐屯地、瀬戸内分屯地（隊員約550名）
 第301地対艦ミサイル中隊（瀬戸内）など
- ◆宮古島＝宮古島駐屯地（隊員約700～800名）
 第302地対艦ミサイル中隊など
- ◆石垣島（隊員約500～600名）
 2019年着工、地対艦ミサイル部隊など

